

- 問1

九州地方の阿蘇山周辺など、火山の分布が見られる地域において、大規模な噴火の後に山体の中央部が陥没することで形成された、巨大な円形や楕円形のくぼ地を何と呼びますか。

(2021年 熊本県公立入試 類似)

1. 盆地

2. 扇状地

3. シラス台地

4. カルデラ

問2

中部地方から近畿地方にかけての沿岸部にある志摩半島では、複雑な形状の海岸線が発達しています。このような地形の成り立ちと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 石川県公立入試 類似)

1. 山地が沈降してできた深い入り江は波が穏やかであり、真珠などの養殖に利用されている。

2. 河口付近に土砂が堆積してできた平坦な地形で、水はけが悪いため主に水田として利用される。

3. 浅い海を堤防で囲って水を抜き、人工的に陸地を広げた場所であり、大規模な農地となっている。

4. 沿岸流によって運ばれた砂が細長く突き出すように堆積しており、景勝地として知られる。

問3

地形図において、標高の等しい地点を結んだ「等高線」が、非常に狭い間隔で密集して描かれている地点の地形的特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2021年 香川県公立入試 類似)

1. 地表面の起伏がほとんどないため、住宅地や農地に利用しやすい平坦な土地である。

2. 短い水平距離の間で標高の変化が大きいため、傾斜が急な斜面になっている。

3. 一定の水平距離の間で標高の変化が小さいため、傾斜が緩やかな坂道になっている。

4. 周辺の土地よりも標高が低くなっているため、水がたまりやすい盆地状の地形である。

問4

夏の季節風が日本列島の中央部にある山脈にぶつかることによって生じる、太平洋側と日本海側の天候の違いについて正しく説明しているものはどれですか。

(2025年 和歌山県公立入試 類似)

1. 日本海側では大陸からの乾いた風の影響で乾燥し、太平洋側では湿った空気により連日雷雨となる

2. 太平洋側では湿った空気の影響で雨が多くなり、山を越えた日本海側では乾燥した晴天になりやすい

3. 日本海側では湿った空気の影響で雨が多くなり、山を越えた太平洋側では乾燥した晴天になりやすい

4. 太平洋側では冷たい風の影響で霧が発生しやすくなり、日本海側では気温が急上昇する

問5

日本の海岸線の特徴を説明した資料において、山地が海に面し、複雑な凹凸を持つ海岸地形の形成理由を説明したものとして、正しい記述を選択してください。

(2020年 高知県公立入試 類似)

1. 浅い海を堤防で囲い込み、ポンプで海水を排水することで陸地へと造り替えた。

2. 沿岸流によって運ばれた砂が湾の入り口をふさぐように長くたまり、細長い地形を作った。

3. 地殻変動による土地の沈降や海面上昇によって、山地の谷の部分に海水が入り込んだ。

4. 河川から運ばれてきた大量の土砂が河口付近に堆積し、平坦な土地が海へ突き出した。

問6

山地から平地へ出る場所に形成される扇状地において、その中央部（扇尖）が、水田ではなく果樹園として広く利用される理由として最も適切な説明はどれですか。

(2021年 岐阜県公立入試 類似)

1. 海岸に近く潮風の影響を強く受けるため、塩害に弱い稲よりも果樹の栽培の方が収穫が安定するから。

2. 堆積した土砂の粒が大きく水はけが良いため、水が地下にしみ込みやすく、稲作に必要な水が地表に確保しにくいから。

3. 地盤が非常に固い岩盤でできているため、水田を作るために必要な地面の掘削や整備が困難であるから。

4. 標高が非常に高く、年間を通じて気温が低いために稲が十分に成長できず、寒さに強い果樹の栽培が適しているから。

問7

北東から南西にかけて標高が低くなっている等高線の分布が見られる地形図において、図の中央を流れる河川の流向（流れる方向）を判断する基準として最も適切なものはどれですか。

(2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. 等高線が密になっている、より傾斜が急な方向へ向かって流れる

2. 標高が低い南西から、標高が高い北東に向かって流れる

3. 標高が高い北東から、標高が低い南西に向かって流れる

4. 等高線と並行になるように、常に同じ標高を維持しながら流れる

問8

日本列島の周辺を流れる海流について、東北・関東沖の太平洋上で寒流と合流し、潮目を形成している「暖流」の名称として正しいものはどれですか。

(2019年 沖縄県公立入試 類似)

1. 親潮（千島海流）

2. リマン海流

3. 黒潮（日本海流）

4. 対馬海流

問9

日本列島の地質構造に関する説明として、フォッサマグナの特徴を正しく述べたものはどれですか。

(2017年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 糸魚川・静岡構造線を西端とする、日本列島を地質的に南北（東西）に分断する巨大な凹地である。

2. プレーートの沈み込みによって形成された、列島に沿って分布する細長い海溝のことである。

3. 関東地方から九州地方までを内帯と外帯に分ける、日本最大級の断層のことである。

4. 火山活動によって噴出した溶岩が積み重なってできた、標高の高い山脈地帯のことである

問10

ある自治体において、土砂災害時の避難所を検討しています。北側に急峻な山地が迫り等高線が密集している地点Aと、山地から離れた平坦な市街地に位置する地点Bを比較したとき、地点Aが避難所として不適切とされる理由を、地形の観点から説明したものとして適切なものを選びなさい。

(2023年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 等高線の密度から判断して、背後の山地で崖崩れや土砂災害が発生し、巻き込まれる危険があるため。

2. 市街地から離れた場所は建物の密度が低いため、地震が発生した際の火災による延焼被害が大きくなるため。

3. 山間部は平坦な土地に比べて地盤が柔らかく、地震の際に液状化現象が発生しやすいため。

4. 等高線が密集している場所は標高が低く、周辺の河川が氾濫した際に浸水被害を受ける可能性が高いため。

問11

河川の流域を、山間部から平野、そして河口へと順にたどるモデルを想定したとき、山地から平地へと地形が変化する急傾斜の出口付近（谷口）で、農業が発達しやすい理由として最も適切な説明はどれですか。

(2018年 和歌山県公立入試 類似)

1. 長年の浸食によって周囲より一段高い平坦面となっているため、自然災害に強い住宅地開発が進みやすい。

2. 運搬されてきた土砂の粒が大きく隙間が多いため、水はけが良いことを利用した果樹栽培が発達しやすい。

3. 海風の影響で砂が堆積して丘のようになっているため、独特の景観を活かした観光業が発達しやすい。

4. 河川の流れが最も遅くなり細かい泥が堆積するため、栄養分が豊富な土壌を利用した稲作が発達しやすい。

問12

ある地域の地形図を確認したところ、大きな建物のすぐ背後に山があり、その斜面にあたる部分の等高線の間隔が非常に狭くなっていました。この地形図から推測される実際の風景の説明として、最も適切なものはどれですか。

(2020年 長野県公立入試 類似)

1. 建物の後ろに、なだらかで緩やかな斜面が遠くまで続いている風景

2. 建物の周囲が等しい高さの土地に囲まれた、広い盆地のような風景

3. 建物が山の頂上付近にある、平坦な場所に建てられている風景

4. 建物のすぐ後ろに、険しく急な斜面がそびえ立っている風景

問13

縮尺2万5千分の1の地形図を用いて地域の広さを算出する場合、地図上の1cm四方（1cm×1cm）の正方形が示す実際の面積として正しい数値はどれですか。

(2024年 千葉県公立入試 類似)

1. 0.0625平方キロメートル

2. 1.5平方キロメートル

3. 0.25平方キロメートル

4. 0.625平方キロメートル